

教育研究研修センターだより



通巻 No.294

令和6年11月14日(木)発行

子どもたちの学びを支える ～未来につながる学びの芽～

岡山市国公立園長会長

岡山市立三門幼稚園長 六車千恵

「好きな絵本は？」と尋ねられたら、私は『エルマーのぼうけん』をその1冊に挙げます。作者はルー・スタイル・ガネット氏(1923年生)。22歳のとき、この物語をほんの数週間で一気に書きあげたそうです。それまで文学作品など書いたことがなかった作者に、どうしてそのようなことができたのでしょうか？

作者は3歳で幼稚園から中学校までの一貫校に入学します。この学校では、先生が「教える」ことはありません。学びの中心はお話作りと積み木遊びです。まだ読み書きができない子どもたちがお話を語ると、先生が書きとめ、読んで聞かせたと言います。その後、読み書きができるようになった子どもたちは、作ったお話を自分でノートに書きとめるようになったのです。子どもたちはお話作りの遊びから計り知れない多くのことを学びました。作者も、このお話作りを通して、言葉のもつ力に気付いていきます。もし、この気付きがなかったら、『エルマーのぼうけん』は生まれなかったことでしょう。

子どもたちが、様々な体験をし、自ら学び取っていく事例は身近なところでも見られます。先日こんなことがありました。5年生の理科に「流れる水のはたらき」の単元があります。その授業の中で、ある児童が「これ、幼稚園の時、砂場でトイを組んで水を流して遊んだときやったことだ」と発言したというのです。この児童にとって幼児期の直接体験から得た学びの芽と学童期の学習がつながっていることを、具体的なエピソードとして小学校の先生と語り合う有意義な機会となりました。

幼児教育は環境を通して行う教育です。子どもたちは、自分から環境に「やってみたい」と意欲的に関わり、直接体験し、夢中になって遊ぶ中で、多くのことを学んでいます。その学びは、〇〇ができる・〇〇ができたと目に見えて実感できるものではありません。その多くは、目に見えないまま、学びの芽となって子どもたちの中にため込まれていきます。保育者は、一人ひとり違う学びを「教える」のではなく「支え」ています。そして、この目には見えにくい学びの芽を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」から見取り、確かめています。

私たち保育者は、幼児期の学びの芽が、学校教育での学びにつながり、さらには将来、社会生活を送る上での力になっていくことを信じ、子どもたちの主体的な遊びを見守り、支えることで、学びの芽が子どもたちの未来につながっていけば、幸せです。



「校外学習の実際」

in岡山カルチャーゾーン

初任者研修、新規採用養護教諭研修は、教育に対する揺るぎない情熱、教育の専門家としての確かな力量、総合的な人間力をバランスよく養うことを目的としています。ここでは令和6年度に実施した校外における研修のうち、「校外学習の実際」について紹介します。

<本研修のねらい>

- ・校外学習等を行うために必要な実践的指導力を高める。
- ・危機管理の意識を高め、校外学習等における安全面への配慮や対策について考える。
- ・教員としての使命感や協調性及び積極性を身に付けるとともに自己啓発や相互啓発を図る。

事前

計画作成・役割分担

ルート、持ち物など、計画に不足はないかな？

校外学習を通して、子どもに身に付けさせたい力を確認してから計画をたてていこうね。



経路や道幅、ガードレールや歩道の有無、集合場所など、安全面の配慮が足りていないことに気付いたね。

当日

実際に歩く



校種の壁を越えた絆！

この場所は、もっと滞在時間を増やした方が活動に余裕ができるね。予想よりも暑い！体調を崩した子どもが休めるところはあるかな。

事後

協議・発表

実際に歩いてみると、計画よりも移動に時間がかかることが分かった！それに雨天の場合も想定しておかないといけないね。



事前、実施、事後の活動をICTを活用して行うことで画像や動画を簡単に保存でき、まとめや発表も充実することに気付いたね。

～初任者の感想～

○小学校教諭

実際に歩いてみると、計画とのズレを多く見つけることができました。また、班のメンバーと協力しながら活動したことで、これからも同期の仲間と共に成長したいと思いました。

○中学校教諭

異校種の先生と一緒に計画、下見を行ったことで、子どもの見守り方、配慮するポイント等新たな視点に気付くことができました。安全を確保しながらも、活動のねらいを達成できるような活動を計画できるようにしたいと思います。

○養護教諭

熱中症対策を講じたり、食物アレルギーや乗り物酔いへの配慮が必要な児童生徒を把握したりと、養護教諭としての大事な役割が多くあると感じました。今後の校外学習に役立てたいと思います。